

2020(R2)年8月26日

会員の皆様

日本給食経営管理学会
理事長 赤尾 正

現在、学会では、以下2点について検討しております。

詳細は、決まり次第ホームページおよびメールニュースにて配信させていただきます。

1. 臨地実習・校外実習振替プログラムの作成について

新型コロナウイルスの影響により実習先の確保や感染対策などにより通常実施が困難な状況となっており、厚生労働省が臨地実習・校外実習について学内での実習を認めた事により、学内実施を検討している養成校が多くなっています。

現在、標準プログラムを学会で提示し、それを活用して頂く準備を進めております。

<目的>

- ・学内で実施する臨地実習・校外実習プログラムの質を担保する。
- ・給食現場の就職に関して、栄養士・管理栄養士職業観のミスマッチを最小化する。

<方法>

- ・オンデマンド方式等で配信する動画と演習を組み合わせる。

(講師は養成校、給食現場の指導者などを想定)

<費用>

- ・有料とする。

<配信時期>

- ・10月を目標とする。

2. 研究助成方法について意見交換会の実施

給食現場における実践研究を増加させるため、本学会の中期計画として「人材(人財)不足社会における安全でおいしい給食を提供するための効率的システムの検討」を重点研究とすることが認められています。具体的には「医療介護領域」では施設に応じた調理システムとその運用、「健康増進領域」では運用の効率性からみた給食の評価を今後のテーマとして掲げています。研究テーマ・デザインを検討するために、会員対話を通して「医療福祉領域」および「健康増進領域」において意見交換を実施する予定です。是非、ご参加ください。

<実施時期>

10月頃

<方法>

ZoomによるWeb会議

以上